

県政報告

～「現地現物」そして「安全はすべてに優先」～

平成30年1月8日
しんかい正春事務所
〒444-0837
岡崎市柱6丁目5-5
TEL/FAX
(0564)58-0128

謹賀新年

目と耳と足を使い、心を働かせて どこにでも



本会議での一般質問

年も改まりましたが、例年にない寒さが続いております。皆様にはお変わりもなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年も全国各地で大きな災害が発生し、防災減災の大切さを痛感いたしました。私は12月議会の一般質問においてこの問題を取り上げ、建設委員会でも質問と要望をいたしました。私の役割は、皆様のご要望・ご意見を目と耳と足を使い、心を働かせて確かめ、皆様のお役に立てるよう努めてまいりたいと思っております。

本年も引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

県議会議員 新海 正春

12月の議会報告

本会議で質問しました

1 本県の施設園芸の高度化の取り組み

質問

この10月、農業振興施策海外調査団の一員として、オランダの「トマトワールド」というトマトの大規模生産施設を視察しました。ここは、形や色、サイズも様々なトマトを約80種類栽培しながら、オランダの施設園芸やICT技術などを見学・体験できる、いわば施設園芸のショールームになっている。

本県の施設園芸の高度化の取り組みは？

回答

本県の施設園芸は、農業産出額の約3割を占め、本県農業を牽引する重要な部門となっている。

特に近年では、低コストで既存施設に導入できる環境測定装置を開発して、平成28年度からは

「あいち型植物工場推進事業」を創設し、産地と指導者が一緒になって、環境制御技術を普及する体制を整備し、産地の振興に取り組んでいる。

こうした成果を「あいち型植物工場」

の推進に活用し、施設園芸の高度化に取り組んでいく。

2 県民自らが災害から身を守る取り組み

質問

東海地震の予知が廃止となり、より一層、地震の備えが重要となった。また、昨今、記録的短時間大雨情報が多く発令され、ゲリラ豪雨への対応として気象庁情報の活用が大切になった。地震や大雨に対する県の取組はどうか？

回答

耐震と家具固定に取り組んでいる。段階的な耐震改修や耐震シェルターの整備にも取り組んでおり、今年度からは除去費用の補助も開始した。家具固定については、各種イベントに家具固定推進委員を派遣し、住宅展示場とも連携している。

緊急地震情報については、愛知シェイクアウト訓練において活用している。豪雨被害については、最新の防災気象情報や自治体発令の避難勧告等にもとづく身の安全確保の行動が重要だと考える。また、啓発パンフレットの発行、気象台との連携による講習会の開催をしていきたい。

なお、新たな気象情報については、気象台と連携しながら、啓発や市町村担当者講習会などで活用し、努めていきたい。

〈裏面に続く〉



オランダ・トマトワールドで

改修が進んでいます

連尺小・城北中学校前の陸橋の改修



現在、取り組んでいます (*は発注済)

- 1 福岡線の早期開通
- 2 矢作南小学校前の歩道橋の応急修理
- 3 砂川拡幅工事に合わせた4橋架け替え推進
- 4 安藤川・相見川・尾浜川の護岸修繕など*
- 5 鉢地川の堆積土砂の撤去*
- 6 舗装修繕（岡崎幸田線の幸田小付近・幸田幡豆線桐山交差点付近）*
- 7 石川（幸田町大草）の改修
- 8 衣浦・岡崎線の除草

12月の建設委員会での一般質問

12月の本会議後の12日（火）に開かれた建設委員会において、引き続き関係質問をしました。以下は、その一部です。

質問

愛知県の住宅の耐震化率はいくつになっているか。また、平成32年度までの目標である95%は達成の見込みはあるか？

回答

愛知県の耐震化率は、平成25年度で85.5%で、全国4位の数字となっている。達成については難しいものであると認識しているが、引き続き耐震化率の向上に努めていきたい。

意見

目標というものは、達成に向けて頑張っていくものである。新たな取り組みをお願いしたい。

県が何か積極的な取り組みをしないと、努力目標だけに終わってしまう。そこで、市町村にどんどんやらせてもらうよう、県が国のメニューを紹介するなど前向きさが重要だと考える。

参加・視察しました

あいち航空ミュージアム・オープン式典 (県営名古屋空港隣り)



自動走行公道実証試験

(岡崎中央総合公園周辺・幸田町民会館周辺)



県議会を傍聴して

羽根学区 朝倉清一様

12月6日（水）、新海県議が議会において一般質問するというので、学区の仲間を誘って傍聴に出かけました。私は仕事の関係でよく県庁に行くことはありますが、議場は初めてでした。

議員の質問は、市議3期、そして市議会議長を務めたこともあってか、実に明確で「さすが！」の一言でした。また、答弁に立った県職員の方や知事さんも、質問内容に対して前向きに受け止め、議員に答えていました。今回は、知事室や会議室など、普段ではなかなか入ることができない部屋にも入ることができ、よい経験をすることができました。

県議におかれては、地域の人たちとのコミュニケーションを足を使って密にしていってほしいと思います。私たちも遠慮なく物を申しながら、応援していきたいと思います。